

えがお 愛顔つなぐえひめ国体に向けて

cocoroe 特集

えひめ国体に向けて、トップアスリート3選手が抱負を語ってくれました。

日時/2016年3月15日(火) 13:05~13:50 会場/松山市立西中学校(体育館)

2017年9月30日から10月10日の日程で第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」と、10月28日から30日の日程で第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」が愛媛県で開催されます。それにあわせて、3月15日、県内トップアスリート3名の方に、松山市立西中学校2年生がインタビューを行い、スポーツとの出会いや、魅力、国体への抱負などをお伺いしました。



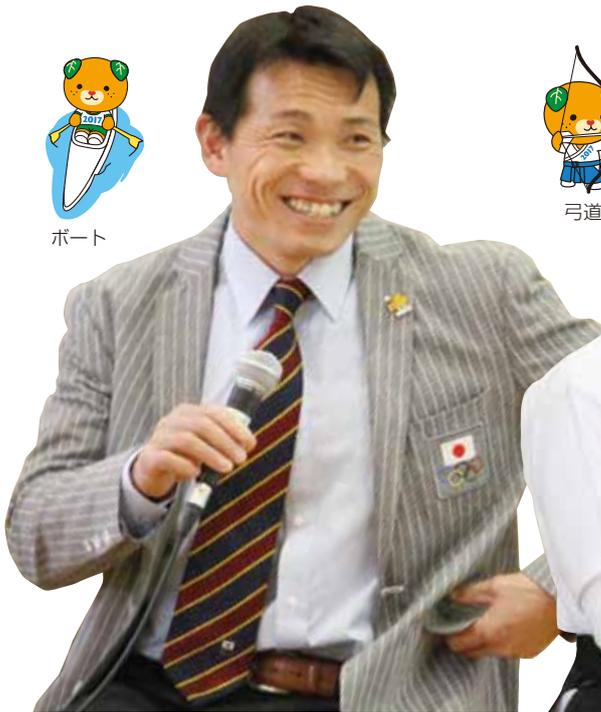
ボート



弓道



ソフトボール



武田大作選手

Takeda Daisaku

42歳 愛媛県伊予市出身。伊予市立港南中学校、愛媛大学農学部附属農業高等学校、愛媛大学農学部卒。

2000年シドニーオリンピックで、日本ボート史上初めて決勝に進出し、軽量級男子ダブルスカルで6位入賞。アテネオリンピック軽量級男子ダブルスカル6位入賞。5大会連続オリンピック出場。全日本選手権男子シングルスカル14回優勝(史上最多優勝)。2015年和歌山国体ボート成年男子ダブルスカル5位。DCMダイキ所属。

玉木里奈選手

Tamaki Rina

23歳 広島県出身。広島市立戸山中学校、広島市立沼田高等学校、安田女子大学卒。

2009年全国高等学校選抜大会個人優勝。2015年全国実業団大会団体優勝、個人(近的2位・遠的3位)。2015年和歌山国体弓道成年女子遠的3位。DCMダイキ所属。

齋藤将平選手

Saito Shohei

23歳 神奈川県出身。神奈川県立伊勢原高校、日本体育大学卒。右投、右打。インターハイ全国3位。全日本大学選手権3位。東日本大学選手権優勝。2015年日本男子ソフトボールリーグ3位。2015年和歌山国体ソフトボール成年男子5位。県競技力向上対策本部のスポーツ専門員。愛媛ウエスト所属。



選手と松山市立西中学校2年生にみきゃんも加わって全員で「えひめ国体、がんばろ〜！オー！優勝するぞ〜！オー！応援するぞ〜！オー！」

えがお 愛顔つなぐえひめ国体

最初に松本光史校長先生からあいさつがありました。「来年2017年秋、みなさんが高校1年生になった時にえひめ国体が開催されます。人生の先輩であり、アスリートである方達から色々なことを聞いて、皆さんの将来について考える充実した時間にしてほしいと思います」

いよいよ生徒達によるインタビュー開始です。質問者が次々に壇上に向かって、選手達に聞きたかったことを質問しました。

スポーツを始めたきっかけは？

武田 ポート競技はあまりなじみがないと思いますが、珍しい競技を選びました。僕は山育

ちで、外にすることが好きで、室内でやるスポーツよりも室外の競技を選びました。僕はまったく球技ができません。自分の不得意なものではなく、好きなことを選んだ結果、ポートになりました。

玉木 私も誰もやっていないスポーツをやりたいと思いました。中学校はすごく田舎で、部活はソフトテニスしかありませんでした。高校生になって母親に「弓道ってカッコいいね」って言われたのがきっかけで始めました。弓道は自分一人で集中してできる場所がいいと思っています。

齋藤 小学校2・3年の時にはサッカーを

やっていました。転校先でも続けたかったのですが、そこにはサッカー部がなく、友達に誘われてソフトボールを始めました。

競技の魅力やおもしろさは？

武田 ポートは外で漕ぐというのと、後ろ向きに漕ぐことです。自然の中で風や日射しやたくさんのことを感じながら、水面を滑る感覚がとても楽しいです。また、他の競技と違って道具を使う楽しさもあります。一番はスピードですね。

玉木 袴をはいて弓を引く姿は見えてカッコいいです。競技中はとても静かな中で、矢が的に当たる音だけが響くので、それ

を成功させよう！オー！



つということが情熱につながると思います。

辛い練習はありますか？

武田 孤独なことが一番辛いですね。僕は監督もコーチもないので、ずっと一人でトレーニングをしています。誰かいてくれたらなと思うこともあります。その分、気楽にできるとプラスに考えて、つらい練習をこなしています。

玉木 いつも同じ練習をしています。調子の悪い時は辛いです。

齋藤 自分は投手なので、体力面で短距離走、長距離走、すべてをこなさなければいけないと思っています。自分を追い込んで走るので、

練習は辛いです。

武田 基本的にみんな本音は、練習しないで勝ちたいというのがあります(笑)。

試合前にするルーティンは？

齋藤 試合前日はしっかり食事を摂ることと、7時間以上睡眠を取るようになっています。試合前には、ストレスを溜めないように心がけています。

玉木 必ずすることは体操です。弓を引くための準備をいつも行っています。

武田 普段と変わらないようになっています。特別なことをしないようになっています。特別なことをすると調子をくずす原因にもなります。

プレッシャーに勝つには？

玉木 緊張はみんなすると思います。日々やって来たことを信じて、自信を持って試合に臨むことだと思います。

齋藤 しっかり練習をし、苦手な部分を残さないようになっています。

武田 普段の練習からプレッシャーを感じてください。そうすればプレッシャーなんてなんでもありません。

勝敗が決まる時の心境は？

武田 自分のベストパフォーマンスをすることだけを考えています。相手のことはまったく考えません。

自分はピッチャーなので、コントロールが大事になってきます。ストライクを投げないと打者を打ち取ることができません。しっかりと、昨日より今日、今日よりも明日と、緻密なコントロールを意識して、ピッチングに取り組むようになっています。

自分にとっては、もう生活の一部となっています。一日一回練習しないと気持ちがスッキリしないし、ストレスが溜まることもあります。練習してストレスが溜まることもありますが、今では切っても切りはなせないものとなっています。

実家が農家なので農家になろうと思っていました。父に憧れていました。日々いいものを作ろうと一所懸命なんです。ファイターです。小さい頃テレビでオリンピックを観て、オリンピック選手になりたいと思っていたら、なれました。案外、夢は叶うものです。

齋藤選手への質問
練習する時、どのような目標を立てて練習に望んでいますか？

玉木選手への質問
玉木さんにとって弓道とは何ですか？

武田選手への質問
小さい頃の夢はなんですか？



齋藤将平さん 玉木里奈さん 武田大作さん

が快感です。

齋藤 野球と比べるとベースの塁間やピッチャーが投げる距離が短いので、ものすごく体感スピードが速く感じます。野球だと内野ゴロを一呼吸おいて取って投げても間に合いますが、ソフトボールでは内野安打になります。スピード感が魅力の一つです。

競技をしていて一番うれしかったことは？

武田 色々な人に会えて、色々なところへ行って、色々なこととふれ合えることが魅力です。僕は各都道府県に必ず一人以上は知っている人がいますし、海外にもポートを通じて、たくさんの友人がいます。24年前に初めて

国体に出場して知り合った人とも、今でも交流が続いています。

玉木 高校2年生の時に全国大会で優勝したことが、一番うれしかったことです。その時は「勝ててよかった」位にしか思わなかったのですが、後になってトロフィーや賞状を見て「わあー日本一や！」と思ってうれしかったです。それをまた経験したいと続けていますが、いまだに全国優勝できてません(笑)。これからがんばります。

齋藤 昨年ニュージーランドに行って来ましたが、ニュージーランドはソフトボールがすごく盛んで、世界でトップレベルの強さを

誇っています。そこで4か月間、トッププレイヤーと一緒にプレーできたことが、一番うれしかったことです。

競技にける情熱は？

武田 日々です。今も話をしながら、もっと上手になりたいと思っています。このような場所に呼んでもらえるのも、実績があるからだと思います。歳は関係なく、日々速くなりたい、上手くなりたいという情熱は持ち続けています。

齋藤 ちょっとした辛さで、あきらめないことです。今まで何度も辞めようと思ったことはありますが、ここまで続けてきたからこそ、今ここに立っているわけで、向上心を常に持



当日の様子。スクリーンを使って質疑応答を行いました。壇上左が選手のみなさんです。



あいさつをする松本光史校長先生



会場からもたくさんの質問の手が挙がりました。



選手とみきゃんの記念撮影。みきゃんが一番目立っています。

玉木 これ1本当てたらヒロインになれると思ったらがんばれます(笑)。

齋藤 ホームランを打たれないように、三振を取ることを考えて投げます。

才能は生まれつきだと思いますか？

玉木 そんなことはないです(笑)。努力すれば絶対上手くなります。

齋藤 ニュージーランドでは中学生も、ラグビーやサッカーやソフトやったりと大体3種目位やっていて、自分に向いているものを選んで高校に進みます。色々な種目を経験した方がいいと思います。

武田 才能というよりも自分の適性をみた方

がいいと思います。この3人の競技も全然違います。自分の得意・不得意がわかれば、スポーツや勉強でもより上へ行きやすいと思います。

中学時代にやっておいた方がいいことは？

武田 恋愛をしてください(笑)。なぜかという色んな人に会うべきだと思うからです。男だけ、女性だけじゃなくて、若い時から色々な人とコミュニケーションを取った方がいいと思います。

玉木 興味があることにはどんどんチャレンジしてほしいですね。

国体の目標は？

武田 勝ちますよ(笑)。僕、21回出て14回優勝しているんで、勝つのは当然だと思ってい

ます。

玉木 私も勝ちます!その前に代表に選ばれるようがんばります(笑)。

齋藤 優勝が目標なので、日々の練習から常に一番を目指してやっていきます。

最後に生徒からお礼が述べられました。「今日はお忙しい中、お越しいただきありがとうございました。大変貴重な体験をさせていただきました。皆様のますますのご活躍を楽しみにしています」

授業終了後、選手に花束を贈呈し、えひめ国体での活躍を願って全員でエールを送りました(3ページ写真)。